

民児協だより



—広げよう 地域に根ざした 思いやり—



伝統文化である青龍祭の龍をモチーフにしたマスコットキャラクター「きよりゆん」。これから、清川村の情報をどんどん発信するので、応援よろしくお願いします。

まなざし

神奈川県唯一の村である清川村は人口3千人強。民児協も委員10名と小さめですが、毎月の定例会では各地域での活動状況の報告、情報交換が活発に行われ、村内全体の実情把握に全員で取り組んでいます。学校訪問、運動会、敬老会等の行事にも協力しています。

近年はサロン活動が盛んです。開所から9年目のサロン「絆」に加えて、この2年程で二つの地区でサロン

が始まりました。いずれも民生委員は開所準備、広報や活動内容支援など積極的にかかわっています。活動内容は健康体操、折り紙、麻雀、尺八演奏、若手ママさんによるペープサートなど多種多様。なかでもサロン発、手作り「吹き矢」は呼吸力アップに繋がると村全体に広がりを見せています。(写真参照) サロン対抗「吹き矢大会」などの企画案も出ています。

(清川村民生委員児童委員協議会)



◆特集① ◆座談会 児童委員・主任児童委員の活動を知ろう

～子どもと子育て世帯をともに支えるために～

- 特集② 神奈川県の新年度重点的な取り組み
- 特集③ 平成28年度県民児協の事業計画・予算 ●通信員だより

特集①

座談会

児童委員・主任児童委員の活動を知ろう

子どもと子育て世帯をともに支えるために

主任児童委員の役割は児童福祉法では、「関係機関と児童委員（以下「委員」）との連絡調整」「委員の活動に対する援助、協力」と記されています。具体的な役割が分かりづらく、さらに、人数も少ないために孤独を感じたり、毎月の事業内容を考えることに疲れ、やりがいを感じることなく、退任される方がいるとも聞きます。

そこで、「委員と主任児童委員の心構えと役割について」をテーマに開催した、平成27年度児童委員・主任児童委員活動推進会議を企画・立案した実行委員にも声をかけ、委員と主任児童委員がお互いの役割を發揮し活動するためにはどうしたらよいかについて、座談会を開きました。



日常生活の中で子どもを見守る

瀬戸さん こんにちは。本日はよろしく申し上げます。

まずは、みなさんがどのような思いや心構えを持ち日頃活動しているか教えてください。

木村さん 何でも気軽に声を掛けられるような存在でいられるように関わっています。また、そうなりたいと考えています。

関さん 主任児童委員の役割が分かりづらかったので、①虐待の予防 ②子育て世帯の支援 ③子どもの安全確保 と仲間で話し合い、役割を決め活動をしています。日頃から「私にも教えて」とお願いしながら、小学校と信頼関係を作

っています。

菅沼さん 当初は、「委員として何をしたらいいのだろう」と正直分かりませんでした。しかし、先輩委員の事例や他市町村民児協の取組みを知る機会を通じ、見出しました。今は犬の散歩をしながら、子どもの見守りをしています。

委員活動を続けるヒント

瀬戸さん 委員、主任児童委員として、楽しく活動を続けていく秘訣はどんなことですか。

関さん 事業の目的を正しく伝えることが大切だと考えます。私達「子守り」ではありません。参加している親子の様子を見ながら、「母親の表情がいつもより暗いけ

れど、どうしたのかな」「子どもの発育が気になるから、保健師に相談してみよう」等、考えながら活動をしています。その事業において委員や主任児童委員が何を担っているのか、携わっているのか目的を正しく伝える必要があります。

菅沼さん 「何のために？」が欠けていると、新任委員は自分の存在意義を見出せません。特に、主任児童委員は同じ立場の人が少ないこともあり、話しをする機会も少なく分かりづらいのかもしれない。仲間の一員として私たちが委員も支えたいと考えます。

阿部さん 疲れた仲間がいたならば、周囲で支えていくことが大切です。

阿部 正信さん(4期目)

実行委員会副委員長/座間市民児協・地区民児協会長



木村 章恵さん(4期目)

平成27年度児童委員・主任児童委員活動推進会議実行委員会(以下「実行委員会」)委員長/寒川町民児協・主任児童委員



瀬戸 昌子さん
(9期目) /
ファシリテーター
広報委員会委員長/
小田原市民児協・
地区民児協会長



石坂 和香さん
(1期目)
広報委員会委員/
鎌倉市民児協・
主任児童委員

菅沼 玲子さん (1期目)
実行委員会委員/大井町民児協・
児童委員



関 修司さん (5期目)
実行委員会委員/秦野市民児協・
主任児童委員



瀬戸さん 民生委員児童委員は、責任感が強い人が多いと感じています。しかし、一生懸命に取り組む過ぎるあまり、一人で悩み、問題を抱えてしまいがちです。周囲が助け合うことが必要でしょう。

関さん 委員活動の会合は昼間が多く、働いている人は参加が難しいのが現状です。

瀬戸さん 無理ない範囲で自分のペースで委員活動が続けてほしいですね。

関係機関との連携の秘訣

ルールを守って「存在をアピール」

木村さん 主任児童委員は、明確な役割が確立していないと感じています。「関係機関との連携」と明記されていますが、具体的にどのように「連携」すればよいか示されていません。だから、模索しながら少しずつ積み重ねているのが現状です。

関さん 全ての児童福祉分野の課題を委員・主任児童委員が解決すると意気込むことはありません。他の社会資源を活用することも一つの方法です。関係機関・団体との連携が不可欠です。

木村さん 主任児童委員は民生委

員児童委員と比べ、新しくできた制度です。そのため、小学校等の校長や教員の方の認知度は低いと実感しています。機会を見つけては、校長に役割を説明しています。校長が異動したら、またゼロから新校長に役割を伝えます。この積み重ねもあって、寒川町では理解が広がってきました。

石坂さん 私の鎌倉市第二地区民児協では子育てひろばの代表は、元小学校校長であることを活かし、キーパーソンとなりPTA等学校関係者と良好な関係を築いています。

関さん 小学校等から情報提供がないという意見も聞かれることがあります。しかし、私たちの活動にも決まりがあるように、学校側にも決まりがあります。「他人の陣地には土足で入れない」ということを心得て関わっています。

阿部さん そのためには、まず、連携する相手との相互理解が大切です。今年度、座間市民児協では、県民児協発行の「関係機関の皆さんへ」のパンフレットを小中学校を通じて教師及び各家庭に配布する予定です。

お互いを知り、活動を広げる

瀬戸さん 「仲間を理解する」ための工夫を紹介してください。

関さん 活動内容を理解し合うために、定例会のときに詳細にはいかないですが、活動の状況報告を行っています。

阿部さん 日頃の活動では、高齢分野が多いため、「児童委員」である認識が薄れてしまっています。私の民児協では、定例会のときに民生委員信条と児童憲章を読むようにしています。これにより、児童委員の意識が生まれたと思います。また、主任児童委員の会議には、市民児協の本部委員会から二名出席し、活動状況を把握しています。

菅沼さん テーマを決めて自分の意見を伝えたり、相手の考えを受け止めたりすることで、自身の役割が再確認できます。

石坂さん 委員活動と主任児童委員活動の違いは、住民とのかかわり方でしょうか。お困りの方へ直接訪問し声掛けする委員と少し異なります。児童相談所や関係機関から依頼がなければ距離を置いて見守る主任児童委員。お互いの活動方針を理解するためにも研修をこまめに行う必要もあります。また、普段からお互いの活動に

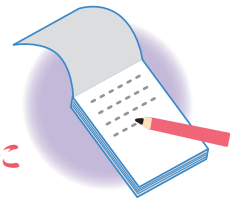
協力し「お互い様」を心がけてコミュニケーションを図ることがよい連携につながると思います。
瀬戸さん 研修や意見交換という機会を活用して、委員、主任児童委員の意識を高めることも大切だということが分かりました。
 ありがとうございます。

平成27年度児童委員・主任児童委員活動推進会議でも、参加者それぞれの民児協の取り組みや自身の活動、日頃の考えを話し合ったことで、多くの気づきを得ることができました。

今年は一斉改選を経て、新しい仲間を迎えることになりました。その準備として、「お互いがどのような想いを持って活動しているのか」「地域に暮らす親子や子どもを、どのような心構えで見守っているか」等、意見交換の場を持つことで、新たな活動の指標になるかもしれません。

また、来年は、児童委員制度は70周年の節目を迎えます。改めてすべての民生委員が児童委員であることを意識した積極的な取り組みを期待されているのではないのでしょうか。

取材を終えて



委員それぞれが役割を果たすことで、親しみや信頼関係が生まれる

民生委員は児童委員も兼務していますが、高齢者に関する活動に比重が置かれています。児童福祉を専門に担当している主任児童委員がいてくれることで、民生委員も心強いです。

以前、担当地区に不登校で虐待の疑いがある児童がいると地域の方から連絡が入りました。何をすることなく、主任児童委員に連絡を入れました。その日のうちに、私のもとに主任児童委員から「様子を見てきました。学校との連絡を取って、見守っていきます。民生委員も見守りをお願いします」と素早い対応をしてくれて、ホッとしたことが記憶に残っています。

このようなことがあり、仲間同士の親しみや信頼関係も生まれました。児童委員、主任児童委員それぞれの役割を果たしながら、活動をしたいと思えます。
 (広報委員・藤沢市民児協 山崎たか子)

関係機関と「繋ぐ」「繋げる」ために

今回の座談会を通してもっと主任児童委員を地域に知ってもらう必要があると思いました。そのためには、ともに守秘義務はありますが、定例会でも最低限の情報を報告し合い、共有することが大切です。少しでも手伝えればと思います。

「繋ぐ」「繋げる」各関係機関と連携をして長い時間の見守りができればと思います。少しずつやっていきたいです。

(広報委員・大井町民児協 菅谷美千江)

子ども・子育て世帯のために課題を発信する大切さ

○児童委員、主任児童委員のなり手がいない。

○早く辞めてしまう。

○仕事との両立が難しい。

○親の介護など必要になったら辞めざるを得ない。

○サロンなど「子どもと子育て世帯を支える」活動は二の次になってしまう。

等の課題が座談会で話されたが、委員制度における問題、構造上の課題であり、行政がしかるべき改革を図るべきものと言えます。

児童福祉の一翼を担いさらに児童憲章に沿って、児童福祉の充実を願う児童委員、主任児童委員としてこれら課題を発信していくことが最も大事だと思います。

あの子のために、あの赤ちゃんのために、あの頑張っているお母さんのために、家族のために、児童委員は今日も地域を回っています。

(広報委員・大和市民児協 齋藤 茂男)



座談会を取材して、自分の活動を振り返る機会にもなりました。

特集②

神奈川県 of 平成28年度重点的な取り組み

民生委員児童委員、主任児童委員に関わる主な行政施策について紹介いただきます。

神奈川県保健福祉局福祉部 地域福祉課

民生委員・児童委員の一斉改選

本年12月の、3年に一度の民生委員・児童委員約4,000人の一斉改選に向けて、市町村の意見を踏まえた定数に見直し、民生委員・児童委員の皆様が活動しやすい環境づくりに引き続き取り組んでまいります。

手話言語の普及推進

平成27年4月に施行した神奈川県手話言語条例に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成28年3月に神奈川県手話推進計画を策定しました。

計画の方向性である「手話の普及」、「手話に関する教育及び学習の振興」や「手話を使用しやすい環境の整備」に沿って、イベントの開催や手話講習の実施など各種施策に取り組んでまいります。

介護人材の養成・確保対策の推進

多様な人材の確保、介護従事者の資質の向上及び労働環境等の改善を柱に取り組んでまいります。

今年度は「介護フェア in かながわ」を新たに開催し、介護の仕事の魅力を発信していきます。また、介護現場で中心的役割を担うチームリーダーの養成研修や、より良い労働環境づくりのために、介護事業所の経営者向けのマネジメントセミナーも開催してまいります。

これらの施策を通して地域福祉の向上に努めてまいりますので、民生委員・児童委員の皆様におかれましても、一斉改選後も継続して地域福祉の担い手としてお力添えを賜りますようお願いいたします。

文責：神奈川県保健福祉局
福祉部地域福祉課



神奈川県県民局次世代育成部 子ども家庭課

県では、平成27年3月に「神奈川県家庭的養護推進計画」を策定しました。虐待などのさまざまな事情により保護者の適切な養育を受けられない子どもたちの多くは、現在児童養護施設などの施設で集団生活をしています。しかし、子どもたちは、できるだけ家庭的な環境で生活することが望まれます。このため、この計画は「家庭的養護」を推進するための、具体的な方策を定めたものです。その計画の柱となっているのが「里親」です。里親は、家庭での養育が困難又は受けられなくなった子どもたちを、家庭に入れて一緒に生活する方たちのことを言います。

県では、一人でも多くの方に里親制度に関心を持っていただくとともに、里親として活動する方々をサポートできるよう、平成27年6月、海老名市内に「里親センター“ひこばえ”」を社会福祉法人への委託により開設しました。ここでは、里親制度に関する説明会の開催や、里親として活動している方たちからの相談に応じる他、交流会や研修会などを行っています。この他、児童相談所や県域5か所の児童養護施設に設置している「家庭養育支援センター」においても、里親に関する身近な相談窓口としてサポートしています。

民生委員児童委員のみなさまには、里親制度へのご理解をいただくとともに、里親制度の普及にご協力いただきますようお願いいたします。

文責：神奈川県県民局
次世代育成部子ども家庭課



特集③

平成28年度 県民児協の事業計画・予算

去る、3月30日(水)開催の平成27年度第2回総会において、平成28年度事業計画及び予算が承認されました。紙面の関係から重点事業および主な事業についてご報告します。

4つの重点目標

1. 地域福祉の担い手のひとりとしての民生委員児童委員の資質向上

多様化する住民の福祉ニーズに対応し、住民の立場に立って相談・支援活動がされるよう、個々の民生委員児童委員の資質向上を図るとともに、地域福祉は関係機関・団体との役割分担の上に進められるという認識やネットワークに必要な知識などを、事例検討や研修の実施等を通して習得するための活動を支援します。

2. 民生委員児童委員活動のあり方の明確化(神奈川県版「活動強化方策」)

総合企画委員会を中心に、神奈川における委員活動状況や課題整理および全国民生委員児童委員連合会が提唱する民生委員制度創設100周年に向けた「民生委員・児童委員活動強化方策」(平成20~29年度)の流れを踏まえ、委員がいきいきと活動できるための環境づくりにむけて、神奈川県版「活動強化方策」を示し、考え方の共有化を図ります。

また、県社協・民生委員児童委員部会での情報等も踏まえ、神奈川全域での状況を反映していくよう努めます。

3. 一斉改選に向けた取り組みの強化

新たに委嘱された委員が、委員活動をスタートするに際し、実際の活動のなかで役立つ事例やQ&Aをまとめた資料集の作成を行うとともに、新任民生委員児童委員に向けた研修を重点的に取り組みます。

また、民生委員児童委員の一期3年間の活動を総括し、研修のあり方についての課題分析や、個別援助票の取扱いなど引継ぎ事項について精査し、次世代の委員活動の発展に供します。

4. 民生委員制度創設100周年記念事業への取り組み

平成29年度の制度創設100周年に向けて、全民児連の動向も踏まえながら、記念事業や横断的な取り組み、地域住民や関係者へのPRなどについて、県民児協として準備にあたります。

事業内容

◎会務の運営

本会事業の企画・運営(正副会長会議、常任理事会、理事会、監事会、100周年記念事業実行委員会)。事業計画・予算や事業報告・決算などの審議・議決(総会)。

◎専門委員会の開催

総合企画委員会では、活動強化方策の策定に向けた課題の整理、一斉改選に伴う各種資料の企画・編集、民生委員児童委員活動Q&Aの作成などを行ないます。広報委員会は機関紙の企画・編集、通信員連絡会を行います。

◎関係機関・団体との連携

児童相談所所長との連絡調整会議、県担当課との懇談会の開催。

◎互助共励事業の実施

会員の傷病時の見舞金や委員本人・配偶者死亡時の弔慰金給付、退任記念品の贈呈。

◎補助・助成事業の実施

「地域福祉活動促進費」を全市町村に、地域特性に応じた事業を行なう市町村・地区民児協に「活動推進事業」助成金を交付。また、ブロック別活動助成、指定地区民児協への事業費助成、活動保険掛金助成。

◎児童委員・主任児童委員活動推進会議の企画・開催

児童委員・主任児童委員を対象に活動推進会議を開催。また、実行委員会を設置、児童委員・主任児童委員連絡会議を開催。

◎情報提供の強化

「県民児協だより」の発行。広報啓発用パンフレットやホームページ等を利用した委員活動のPRの実施。一斉改選に伴う各種資料の発行(活動事例集(仮称)の作成発行等)。

◎研修会の開催

◎本会主催研修事業

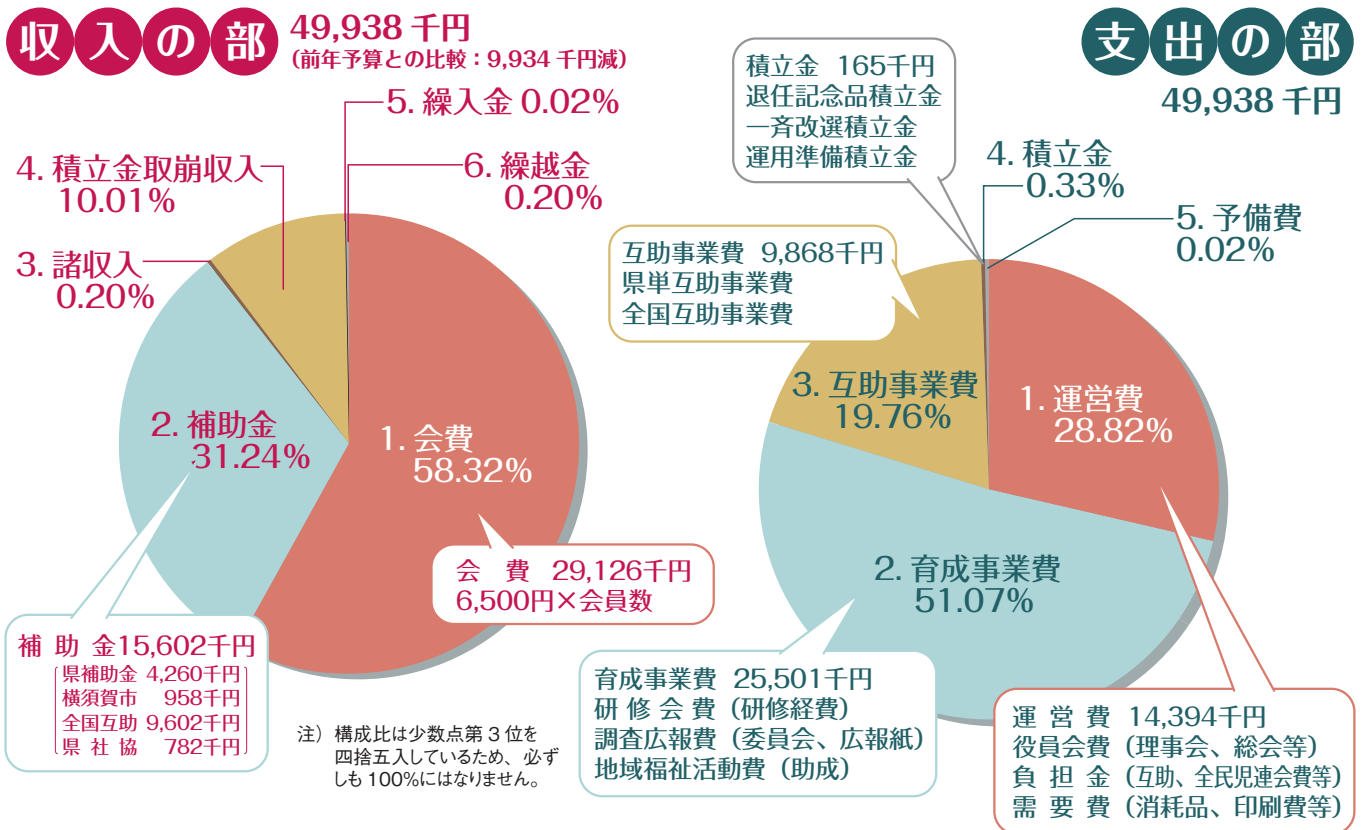
①市町村会長研修会②地区会長研修会③課題別集中講座④児童委員・主任児童委員活動推進会議(再掲)

◎県社協との共催研修事業

①新任民生委員児童委員研修②民生委員リーダー研修③民生委員テーマ別研修

◎全国・関東ブロック会議等への参加

①全国民生委員児童委員大会②関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会③全国主任児童委員研修会④民生委員児童委員のための相談技法研修会⑤民生委員・児童委員リーダー研修会⑥全国児童委員研究協議会⑦全国民生委員指導者研修会



1	会費	29,126,000円 (対前年度比 20,000円の減)
2	補助金	15,602,000円 (対前年度比 5,794,000円の増)
3	諸収入	100,000円 (対前年度比 60,000円増)
4	積立金取崩	5,000,000円 (新設)
5	繰入金	10,000円 (増減なし)
6	繰越金	100,000円 (前年度繰越金)

1	運営費	14,394,000円 (対前年度比 600,000円増)
2	育成事業費	25,501,000円 (対前年度比 2,521,000円増)
3	互助事業費	9,868,000円 (対前年度比 6,813,000円増)
4	積立金	165,000円 (増減なし)
5	予備費	10,000円 (増減なし)



▲関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会 (6月)



▲共催研修事業 (8月～3月)



▲課題別集中講座 (9月～10月)



▲県民児協だより取材 (通年)

写真でみる県民児協事業 (平成27年度)

県民児協で実施している事業の
一部を写真で紹介します



▲児童委員・主任児童委員活動推進会議 (2月)



◀ 広報紙、印刷物 (通年) ▶

通信員だより

鎌倉市

地域を作る
人とのつながり

通信員 大木 君江

今や日本は世界に誇る長寿国となり、地域福祉を取り巻く様々な課題も複雑・多様化しています。民生委員としても他の関係機関と連携をして、一人ひとりに寄り添った支援ができるように委員同志心をひとつに活動を進めています。

鎌倉市でも避難行動要支援者名簿、地域アセスメント、子どもの貧困問題等、いろいろな課題に取り組んでいます。

しかし、民生委員の一番の任務は、地域の人達が安心して幸せな日々を過ごせるように日頃の見守りや訪問活動を行い、きめ細やかに手を差し伸べることです。最近、近隣関係が希薄化していると言われていますが、地域づくりにはまず、人と人との関わりが大切です。そのためにも、地域の中で出会いの場を見つけ、お互いの信頼関係を築いていくことが求められています。

お年寄りの穏やかな笑顔、子ども達の元気な笑顔、そんな地域の人達の笑顔に出会えることがとても嬉しく私達の活動の支えとなっています。



地域に咲くイワタバコの花

海老名市

識見が広がった交流会

通信員 倉橋 郁子



交流会風景

海老名市民児協広報委員会(10名)は研修の一環として、今年2月2日、秦野市保健福祉センターにて、秦野市民児協広報部会(12名)と交流会を行いました。他市との交流会は初めての試みでしたが、秦野市民児協事務局及び広報部会の皆様に快く応じていただき、実現する事ができました。

交流会では、双方の民児協組織や広報紙、活動内容、勉強会などについて紹介し、多くの質問や率直な意見交換を行いました。お互いの対象とする読者の違いから取り上げるテーマや内容に違いがありましたが、共通点も多々あり参考にすることができ、大変貴重な体験となりました。

来期より海老名市民児協は5地区から6地区に分割され、ますます多様化していきます。それぞれの地区の特色を広報紙の中でどのように伝えていくかが課題となります。今回の交流会の体験を活かし、これからの広報紙作りに役立てたいと思います。

南足柄市

市あげての健康フェスタ

通信員 長田 秀子

第13回南足柄市健康フェスタが12月6日に、保健医療福祉センターで開催されました。体が不自由になっても、みんなと一緒に楽しみたいと言って、毎年車いすに乗って来てくださる老夫婦が、「おーい、来たぞ」と元気に声をかけられ、お互いに喜び合いました。

中央地区では、シクラメンや花の苗を販売しました。開店前には行列ができ、開店と同時に大物の鉢が売れていきました。

ヨーヨー釣り(無料)も親子連れで賑わい小さい手で釣り上げる子ども達の生き生きとした姿がとても可愛かったです。初参加の委員は、紙漉りに苦労しながらも、みんなでおしゃべりをしながら楽しく作業ができ、「風船の膨らませ方にはテクニックが必要だ。来年はがんばってやるぞ」とかんでいました。

岡本地区のそば処みんせい庵では、おいしい日本そばの販売をし、あっという間に、完売。

参加しているみなさんが明るく活気にあふれていました。市あげてのイベントとして、南足柄市の健康づくりの輪を更に広げていきたいと思っています。



販売準備の民生委員